

おしえて！

感染症 さがみはら

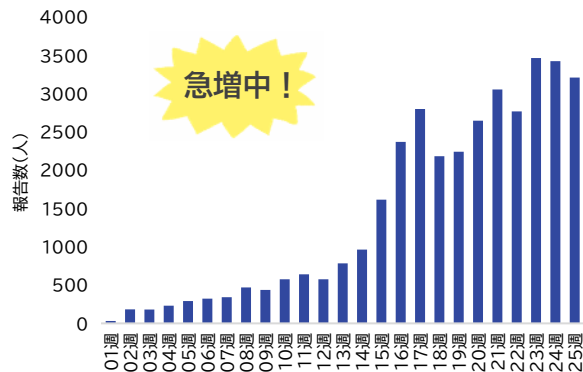
2025年8月



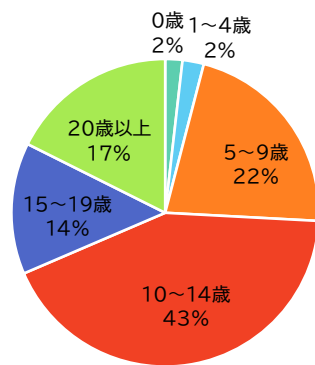
今月のテーマ：百日咳

百日咳は百日咳菌による感染症で、特有の咳が特徴です。
2024年末ごろから報告数が急増しています。
いずれの年齢でも感染しますが、5-19歳の報告が全体の8割程度を占めており、学校等での集団感染に注意が必要です。

百日咳の報告数(全国)



年齢群別割合(2025年25週まで)



経過

感染力大



- 接触・飛沫感染
- 感染力が非常に強い



- 鼻水、くしゃみ、軽い咳などのかぜ様症状
- 咳の回数がだんだん増えていく



- けいれんするような連続性の咳発作(コンコンと激しく咳込み、最後にヒューと音を立てて息を吸う)がみられる
- 発作は夜間に生じることが多い



- 激しい咳は徐々に収まる
- 軽い咳が2-3週間続く

要注意

乳児の百日咳

- 特有の咳がなく、無呼吸発作からチアノーゼ(顔色や唇の色や爪の色が紫色に見えること)、けいれん、呼吸停止と進展することがあります。
- ワクチンを接種していない生後3か月未満の乳児は特に重症化のリスクが高いと言われています。



予防のために

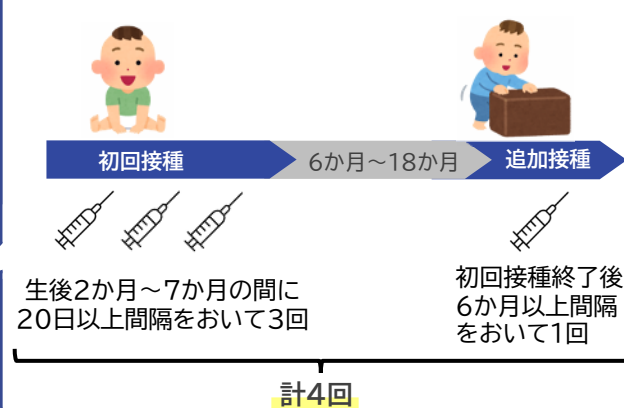
基本的な感染対策



予防接種



標準的な定期接種スケジュール



保健所医師からのコメント

- 4回接種が完了していても就学前には効果が低下するため、日本小児科学会はワクチンの追加接種を推奨しています。任意接種となりますので、詳細はかかりつけの医師にご相談下さい。
- 特有な咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬による治療が終了するまでは出席停止期間とされています。百日咳は感染力が非常に強く、周囲に広げないためにも自宅安静をお願いします。

参考文献

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=138

日本小児科学会 百日咳ワクチン接種推奨ポスター

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=310

日本小児科学会 学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=46

